

いつものように笑ってくださいと言いました。

答えを返すことをいつものようにしていました。

たといこの心が失われようとも、あなたに答えを返そうと思いました。

だけど、失われてしまった心をあなたは既に持っていた。幻想的な答えだと思いました。

いつも、泣いている。彼女は泣いている。鶯は飛んでいる。

一人ひっそりと笑っていたら。

空を見上げている私がいた。

雲が流れている。鳥が飛んでいる。陽が照っている。

私は見つめている。

そして、一人で笑ってみた。

寂しい。寂寥感。淋しい。そして消失。

あなたがもうここから旅を始めてどれくらい経つのかはわからないけれど。

それだけ、私は待っている。

いつまでも、あなたが答えてくれた失われた心を必要としているけれど。

それでもずっと、私はあなたを待ち続ける。

ずっと、ずっと。